

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	・東京オリンピックが近くなるにつれて、景気はますます良くなっていく。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・地元企業や大手メーカー等、多くの会社で少しずつ動きが出始めている。景気が良くなることを期待している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・伊勢志摩サミットから1年近くたつが、今でも波及効果が大きい。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・新年度の予算が動き出し、取引が活発な時期となる。
		百貨店（売場主任）	・ゴールデンウィークが始まり、新ビル開業の効果もあり来客数は増加する。
		百貨店（経営企画担当）	・様々な海外情勢にも一服感があり、株高により富裕層を中心に購買増加が期待できる。ゴールデンウィークの日並びも良く、買物客にも期待できる。
		スーパー（総務担当）	・鮮魚の産直セール企画が大変好調で、来月も期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・全社キャンペーンに加え、エリアでの企画と商品開発を継続的に実施している、ファーストフード総菜の夕方・夜間の品ぞろえを強化することで一層の改善が期待できる。
		乗用車販売店（経営者）	・6月後半からはボーナス商戦が始まり良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・足元での問い合わせやアクセスの増加が、後になれば実になる。長い目でみたら良くなっていくという期待感がある。
		住関連販売店（経営者）	・大型施設の建設計画がある。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・欧州等の海外情勢も落ち着く。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・季節の変わり目を迎え、購入する商品にも変化が出てくる。
		観光型ホテル（経営者）	・大河ドラマの効果もあって、前年のうちに大型団体予約を受注しており、宿泊者数は前年同期比10%増加での推移が見込まれる。
		観光型ホテル（販売担当）	・2か月先の予約状況から、来客数、団体予約の宿泊・一般宴会共に前年同月比で数%の増加が見込まれる。食堂等の個人客の動きは読めないが、全社的にはやや良くなる。
		都市型ホテル（経営者）	・業況は良いが、予約のリードタイムが短く、販売量や来客数が予測しづらくなっている。
		旅行代理店（経営者）	・特に悪い材料はなく、3か月先には景気が少しでも良くなることを期待している。
		旅行代理店（経営者）	・海の日や夏休みの家族旅行を計画する時期に入るので期待がもてる。旅行先としては、グアムやアジア地域のビーチリゾート、沖縄のビーチホテル、話題性のある動物園や水族館の近辺の人気が高い。花火大会等のイベントがあると、相乗効果がある。
		タクシー運転手	・ボーナスの時期でもあり、暑くなるとタクシーの利用客も増える。
		テーマパーク（職員）	・ゴールデンウィークの期間が長いので、来客数の増加が期待される。
	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・観光列車の拠点駅で再整備が行われ、集客に期待している。	
	美容室（経営者）	・これから梅雨に入るまでは忙しくなる。	
	美顔美容室（経営者）	・4月から始まったキャンペーンが7月末まで続く。新規客が試しに来店し、客層の拡大につながる。	
	住宅販売会社（従業員）	・ゴールデンウィークに期待している。金利が上昇傾向で、購入者にとっては不利になりつつあるため、後押しとなる。	
	その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・夏場にかけて、住宅新築や工場改装等の引き合いが増えていく。	
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・新しいシステムを導入し、客の反響をキャッチしやすくなるので、販売も上向きになることを期待している。	
	商店街（代表者）	・社会情勢が非常に不安定で、客の動きや消費行動等も先が見通せない。	
	商店街（代表者）	・来客数は変わらず客単価も改善しないので、販売量や売上も変化しない状況がずっと続いている。現状が底なので、これ以上は悪くならない。	
	商店街（代表者）	・これから夏にかけて暑くなる時期は、あまり商品が動かない。	

商店街（代表者）	・商品の購入はネットや大手量販店に集中し、今後もその傾向が続く。特にこの2～3か月で急に変わる要素もなく、景気も変わらない。
商店街（代表者）	・現状の購買行動からの改善は期待できないため、千円以下の価格帯の商品開発に力を注ぐ。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・個人消費は、当分はこのままの悪い状況が続く。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・全国菓子大博覧会が終わると、販売量の動きは落ち着く。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	・大型連休や梅雨を控えており、底ばいは避けられない。薬局部門も、鼻炎やインフルエンザが落ち着き横ばいとなる。人の流れは大規模開発が続くターミナル駅に集中し、店の売上は、特に土日や祝日は極端に落ち込む。非常に暇な日が多く、同じビルのテナントの店長もぼやいてばかりである。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店ではアルコールの消費が減少する傾向が続く、景気が良くなる材料が見いだせない。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・2～3か月後も客層は二極化したまま、売上全体は現状と変わらない。一部の大手法人客からの売上は伸びるが、個人客を中心に全体の動きは鈍く、贈答品には金を使わない傾向が続く。
一般小売店〔書店〕（経営者）	・4月は期末からの流れで来客数は増加したが、この先も増加が続くとは思えず、横ばいとなる。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・我が国の景気は回復基調にあるが、北朝鮮、欧米等、様々な外的要因がどうなるか不透明である。
百貨店（企画担当）	・店のある地区が活況ということもあり、食品や化粧品等の生活財を中心に売上は前年同期を上回っているが、景気が良くなっているわけではなく、単純にエリア内の人の動きが多いからである。アジア、欧州を始め世界情勢が非常に不安定なので、経済の先行きは不透明である。
百貨店（経理担当）	・米国の外交・経済政策や欧州各国の政治情勢、シリア・北朝鮮等の地政学リスク等、不透明で不安定な要素が払拭されない限り、消費マインドは上向かない。
百貨店（販売担当）	・北朝鮮の情勢等、先行きに対する不透明感が払拭できない。
百貨店（計画担当）	・ターミナル駅周辺への集客が、しばらくは維持されていく。
百貨店（販売担当）	・ボーナスでの購入品の下見客が増加している。3か月先まで安定的に販売施策を計画しているため、先行きも悪化する要素はあまりない。
スーパー（経営者）	・夏のボーナスの時期となるが、大手企業や公務員を除く8割くらいの勤労者はボーナスが増えない。社会保険料等が高くなり、むしろ手取り額は減るため、家計の消費は伸びない。
スーパー（経営者）	・伊勢志摩サミットから1年が経過するが、販売量の変化にはつながっていない。これから先も不透明である。
スーパー（店員）	・来客数は減少しているが、買上点数は増加しており、売上には変化はない。
スーパー（店員）	・サラダ油や小麦粉等の卸価格が上がってきたので、先行きへの影響が心配である。
スーパー（販売促進担当）	・この10年ほど芳しくない数字のままであり、このまま続くとは経営的に非常に厳しい。
スーパー（販売担当）	・景気が良くなる材料が何もなく、売上は改善しない。
スーパー（販売担当）	・競合店が閉店した影響も一段落し、状況は落ち着いてくる。
スーパー（人事担当）	・買い控えの様子もなく、販売量、来客数共に先行きも大きな変化はない。
スーパー（ブロック長）	・今期は商圏内での競合先の出店で、限られたパイの奪い合いが続く。ドラッグストア等、他業態でも食品の強化がみられ、スーパーマーケットにとっては脅威となる。
コンビニ（店長）	・特に変化する要因はない。
コンビニ（企画担当）	・今のところ変動する要因はなく、現在の状況が続く。
コンビニ（エリア担当）	・4月と同様の好調な状況が、当分は続く。
コンビニ（店長）	・特に外部環境は変化しないと考えられ、当分は足元のよう状況が続く。
コンビニ（商品開発担当）	・現状の流れからすぐに好転するようには見受けられない。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・直近の傾向をみる限り、回復基調となる要素が全く見当たらない。ただし、一層悪化する要素も見受けられない。

家電量販店（店員）	・故障等による買換え需要のみで、販売量は底を打っている。特段問い合わせが多い商品等もない。
家電量販店（店員）	・景気は良くはない状況だが、このところの暑さが続けば、季節商材が前年に比べ大幅に伸びる。
乗用車販売店（営業担当）	・現時点では良くなる要因がないので横ばいである。北朝鮮の情勢によっては悪くなる可能性もある。
乗用車販売店（経営者）	・客の動きは落ち着いている。
乗用車販売店（経営者）	・消費を活性化させるような、制度改正やメーカーの商品展開が見受けられない。
乗用車販売店（従業員）	・夏のボーナス商戦の時期となるが、今年の春闘の結果をみると、盛り上がりは期待しづらい。
乗用車販売店（従業員）	・ゴールデンウィークを迎え、新車購入の商談が進みづらくなる。新型車種の発表が7月にあり、夏のボーナス時期を控えているので、2～3か月先はもう少し市場が盛り上がっていることを期待する。
乗用車販売店（総務担当）	・自動車販売に関しては、大きく影響するような出来事もなく、大きく落ち込むような環境ではない。
住関連専門店（営業担当）	・新築住宅、マンション共に価格が高止まりとなっている。購入者が慎重になり、検討中の人が多い。公共工事やビル関係は需要が旺盛である。住宅関連でも、リフォームや大規模改修等は、まだまだ伸びが見込める。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・例年売上が落ち込む時期に入る。特に良くなる要因は見込めず、期待はできない。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・今後3か月は、目に見えてそれほど大きな動きはない。購入単価が少しずつ上昇している客層もあるが、比較的リーズナブルな価格帯の客が多く、可もなく不可もなくといった状態が続く。
高級レストラン（役員）	・5月の連休とその後の予約状況は、前年同期並みで推移している。
一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・全国菓子大博覧会が開催されて盛り上がっている。県の北部では、幹線道路で渋滞等が発生し、売上にも多少響いている。
一般レストラン（経営者）	・東アジアの情勢には、緊張感が続く。
スナック（経営者）	・物価の上昇等で、景気の回復はますます期待できない。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・良くも悪くも、米国の大統領の動き次第である。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・十分に景気が良い状態であり、先行きもこのまま続く。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から、現状と変わらない見込みである。
都市型ホテル（支配人）	・北朝鮮問題がリスク要因である。観光客への影響がなければ、現状と変わらない。
都市型ホテル（経理担当）	・前年並みの予約状況である。
旅行代理店（経営者）	・4月以降は例年並みに戻ってきているが、世界情勢が不安定なため、先行きの予測が難しい。当面は現状維持と見込んでいる。
旅行代理店（経営者）	・北朝鮮の動きが定まらず、海外渡航の客は慎重にならざるを得ない。国内旅行も動きは低調なままである。
旅行代理店（経営者）	・ターミナル駅前の新規開店の効果も一段落し、当面は横ばいとなる。全国的には東京一極集中となっているように、東海地方ではターミナル地区への一極集中が更に進むかは、地域一円へのインバウンドの動きが左右する。
タクシー運転手	・消費者は無駄な支出をしない時代となっており、業況は良くないままである。
タクシー運転手	・繁華街の出入は少ないままで、2～3か月で変わるとは思えない。景気は全体的に回復しない。
タクシー運転手	・業況は、低い水準のままで安定している。
通信会社（企画担当）	・大河ドラマの効果で観光客や関連商品が増えている。地元の自動車メーカーが新型車種を発表する等、良いムードのまま続いていく。
通信会社（営業担当）	・当面、現状のままの状態が続く。
テーマパーク職員（総務担当）	・来客数がこのまま伸びれば良いが、予測がつかないため、とりあえず現状維持と考える。
ゴルフ場（企画担当）	・予約状況は、各ゴルフ場で前年同月を上回り好調である。予約状況からは景気は少し良いといえるが、梅雨の時期になることから、実際の来客数はそれほど伸びない。

	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・就労者の年齢を60代後半まで上げることで、応募者も増加し、人手不足も解消されつつある。施設の運営体制が安定し経営の安定にもつながる。
	設計事務所（経営者）	・案件数は若干増加しているが、設計料の受注単価がかなり厳しいため、結果的としてはあまり変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・大きく変わる要素は見受けられない。
	百貨店（経理担当）	・国際情勢の先行きによって、悪化する可能性が見込まれる。
	百貨店（販売促進担当）	・ボリュームゾーンの売上減少が続き、さらに、ターミナル駅地区での大型商業施設の開業も影響する。インバウンドもすぐには回復しない。
	百貨店（販売担当）	・来客数は前年同期をやや下回る状況で、厳しくなっている。
	スーパー（店長）	・徒歩圏内に当社の新規店舗がオープンし、来客数が1割程度減少している。1か月もすればある程度は回復するが、今までのようには売れなくなる。
	スーパー（支店長）	・世界経済の先行きに不透明感があり、消費も落ち込む。
	スーパー（商品開発担当）	・ここ3か月の来客数は前年実績を割り、足元では売上や粗利も前年を下回っている。特に粗利に関しては厳しい数字となっている。
	スーパー（企画・経営担当）	・良くなる要素が全くない。
	コンビニ（店長）	・ビール類よりも単価の低い耐ハイ等のリキュール類が売れるようになってきている。まだまだ消費者には低単価志向が強い。
	衣料品専門店（経営者）	・バーゲン期に入るが、一見客は、購買目的で来店しても、予算やイメージ等、何一つ妥協しないため、売上の確保は難しい。
	乗用車販売店（従業員）	・新型車種の発表予定もなく、当分は既存の車種を販売していくことになるが、増販期を過ぎて販売増加が見込める要素がない。
	乗用車販売店（従業員）	・4月からの増税も影響し、必要最低限の買換え客しか見込めない。工場への在庫も、車検対象台数が少ないため、いかに効率よく在庫に結び付けるかが重要となる。しばらくは楽観できない状況が続く。
	乗用車販売店（販売担当）	・4月から減税額が縮小となり、新規の来客数がかかり減少して厳しいが、今後も更に厳しくなる見込みである。
	通信会社（営業担当）	・時期的に、業況にプラスの要素がなくなる。
	通信会社（サービス担当）	・年度始めや新学期による新規申込みは増加しているが、引越越しシーズンもピークを過ぎ、販売量は徐々に減少していく。
	テーマパーク（職員）	・インバウンドの動きは、先が見通せない。
	パチンコ店（経営者）	・客が低単価での楽しみ方に慣れてきており、薄利多売の営業方針となる。
	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・良くなる気配がない。
	理美容室（経営者）	・客との話題では、景気は良くなりませんが、段々悪くなっていく。
	美容室（経営者）	・新生活にも慣れて落ち着いてくるので、客足が鈍り来客数も減少する。
	美容室（経営者）	・市の人口が70万人を切っている。人口が減れば、景気も上向く気がしない。
	設計事務所（職員）	・こここのところ、政治面ではマイナスの話題が目立って、景気が良くなるような政策等の話が聞かれない。
	住宅販売会社（経営者）	・少子化で客の絶対数が減少しているため、今後は厳しくなっていく。
	住宅販売会社（従業員）	・年度末決算での受注残が着工するだけで、積極的な住宅の購入意欲が高まっているようには思えない。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・リフォーム物件は増えているが、公共工事は発注数、落札額共に下降しており、厳しい状態で推移する。
×	商店街（代表者）	・年金支給額は減る一方で、地域の専門電器店にとっての客層は、購買意欲が下がっていく。
×	衣料品専門店（販売企画担当）	・何とか販売を伸ばすために、値下げ合戦となる。
×	乗用車販売店（従業員）	・北朝鮮の動きが気になる。何かあれば景気は極端に悪くなる。何もなくても、景気は不安定な状態がまだまだ続く。
×	一般レストラン（経営者）	・国内外に不安定な要素が多く、景気が良くなるとはとても思えない。
×	理美容室（経営者）	・景気が良くなるとは思えない。

企業 動向 関連	*	*
(東海)	食料品製造業（経営企画担当）	・全国菓子大博覧会が開催されており、会場地区を中心として、例年以上に活気のあるゴールデンウィークが期待できる。
	化学工業（営業）	・競合メーカーの供給が不安定で、需要の取り込みが見込める。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・新規開発の依頼が増えており、4月末からは受注も増え始め、若干だが回復の兆しがある。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・各社が休止していたメキシコ工場の引き合い案件が、動き出している。今後は大型案件を含む受注の増加が見込める。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・ガソリン等、燃料代も下落傾向にあり、出かける人が増える。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・4月は3月の駆け込み受注の反動減で悪くなったため、これから3か月後には回復する。
	輸送業（エリア担当）	・これから季節も変わる。新年度に入って荷物量は増加しており幸先は良い。
	輸送業（エリア担当）	・今後、配送料の単価交渉が始まり、適正な単価水準になっていく。
	通信会社（法人営業担当）	・近所にオープンしたスーパーは、開店初日からたくさんの客でにぎわっている。購入客の手には目玉商品が目立つが、客層は幅広く、店員の数等からも、地域消費活性化の中心となりそうである。
	通信会社（法人営業担当）	・ゴールデンウィークで財布のひもが緩む。大型連休だから、正月のように外食等のぜいたくを少しはしたいという声が聞かれる。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・景気は良いが、為替相場の展開によって先行きも決まる。1ドル100円を切る可能性もあるが、実際はどうかかわからない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・足元の景気は特に良くも悪くもなく、これから先もあまり変化はなく、景気は変わらない。
	印刷業（営業担当）	・周りの様子からは景気が良くなっているとは思えない。消費者の様子も、あまり購買が活発という印象は受けない。消費が活発になるような仕組みを作っていくと、景気は上向かない。
	化学工業（総務秘書）	・目立って悪くなる要因は存在しない。北朝鮮を巡る情勢が急激に緊迫しているが、身の回りの景気にすぐに影響するという実感はない。
	化学工業（人事担当）	・北朝鮮の動向、欧州での選挙結果等の影響があるかもしれないが、それらを除けば、悪くなる要因はない。
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いの動きにもあまり変化はなく、引き続き低調である。
	金属製品製造業（従業員）	・業者間でも、今期は仕事量の変動の谷間というあきらめムードが感じられる。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・受注見込みから横ばいとなる。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・基本的には上昇基調にあるが、軍事的な緊張が続いている地域もあり、3か月先の状況は不透明である。
	電気機械器具製造業（経営者）	・価格転嫁ができず、これ以上の維持は困難な状況が続いている。今後も価格が改定されないと、受注を見送る方向となる。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・企業のネットワーク関連の設備投資意欲は上向きであるが、業界では受注獲得競争が厳しく、獲得しても適正な利益がなかなか得られない。
	建設業（経営者）	・国内では大手企業での一連のニュースがあり、海外では米国・北朝鮮を始めとする出来事等、不確定要素が多く、今後の経済情勢が見通せない。消費者マインドにどう影響するかも読めない。
	輸送業（エリア担当）	・燃料の軽油価格は、前年同期比で20円近く大幅に値上がりしており、心配である。
	輸送業（エリア担当）	・荷物の動きは、このまま安定する。
	金融業（従業員）	・業種や企業内の部署によっては若干良いところもあるため、どちらともいえない状況が続く。どちらかといえば良くない方向に進んでいる。
	金融業（企画担当）	・給与アップが実感できないと、消費が旺盛にならない。ボーナスの増額が明確になれば、景気上昇につながる。
	広告代理店（制作担当）	・これと違って新しい要因も見当たらず、現状維持の状態が続く。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新年度になって、折込チラシの枚数は減少している。
	行政書士	・貨物が通常どおりの動きとなる。

		公認会計士	・中小企業に対する政府の現状認識が、現実とかい離している。中小企業施策としての補助金等は、特定の業種や状況の企業等、限定的なものばかりである。金融機関の中小企業支援策も、形式的で実効性に乏しいものになっている。
		会計事務所（職員）	・賃金の低いパート等を採用して人件費を抑えようとする企業が多いが、専門職の人材育成には時間と費用がかかるので、即効性は期待できない。
		会計事務所（社会保険労務士）	・昇給を実施する法人もみられるが、社会保険料の改定による支出増加もあり、手取りの収入はあまり増えていない。設備投資を考えている法人もあるが、金額的にはそれほど大きくない。
		食料品製造業（営業担当）	・消費量が全体的に減っている。企業、家計共に、支出が厳しい状況である。
		鉄鋼業（経営者）	・仕入れ値高騰による圧迫が強まるが、販売単価の改定は難しい。鉄鋼メーカーは更に10%以上の値上げを示唆している。
		輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	・新たに製造、販売する商品の種類が抑制傾向にある。
		輸送業（経営者）	・運転手に限らず、物流業界で働く人手の確保は、ますます厳しくなる。労働時間の削減も求められており、受注に見合う労働力の確保が難しい。
		輸送業（従業員）	・北朝鮮問題を懸念し、消費や海外旅行を控える傾向にある。物流業界は、人手不足や長時間労働対策で厳しい冬の時代に突入する。景気が好転するような材料が見当たらない。
		不動産業（用地仕入）	・ターミナル駅周辺の再開発やリニア新幹線の開業に向けて市内全体で地価が上がり続けている。土地の仕入れが困難になり、マンション価格も高止まりとなる。
	x	電気機械器具製造業（営業担当）	・現在の状況から改善の見込みはない。
雇用 関連 (東海)		人材派遣会社（支店長）	・長期就労者の稼働人数は増加が続き、年間ベースでも2けたの伸びを示しており、増収が続く。
		人材派遣会社（社員）	・イベントが始まり良くなる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・新車販売台数、輸出台数共に徐々に上向きに推移し、生産台数も増加が見込まれる。
		職業安定所（所長）	・人材確保、雇用維持のため、小幅ながら企業の賃金改善への取組が進みつつある。ベースアップ実施の効果もある。
		職業安定所（職員）	・在職中の求職者が、5か月連続で前年同月を上回っている。賃金等の条件面で改善が進めば、転職市場も活発になる。
		人材派遣会社（社員）	・引き続き企業の採用意欲は高いが、条件に合う人材が少なく、ミスマッチの状態が続く。
		人材派遣会社（営業担当）	・前年から自動車関連企業の活況は続いており、2～3か月先もこの状況は変わらない。先進運転支援システムという継続的なテーマがあるため、経済的に大きな変化が発生しない限りは、やや良い状態が続く。
		人材派遣会社（営業担当）	・上期中は一旦人材の流動は落ち着く時期となる。人材業界では、現状を維持するための動きが中心となり、状況は変わらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・米国や北朝鮮の動き次第で日本の景気にも影響があるため、不安定な状況が続く。
		職業安定所（職員）	・事業所によって好不況の差はある。若干の人手不足感はあるが、景気の悪いところは相変わらず悪く、まだまだ厳しい。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・求職者数、求人数共に前月に比べて動きが落ち着き、変化する要因は見当たらない。
		民間職業紹介機関（支社長）	・海外情勢の影響が大きく、国内の要因で好転するようには感じられない。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業から送付される採用案内は変化なく、学内の説明会への参加件数にも変化がないため、横ばいの推移が見込まれる。
		人材派遣会社（社員）	・改正労働契約法が5年、改正労働者派遣法も3年たつことから、派遣先での直接雇用化が進む。派遣会社としては、コストの増加と売上の減少が見込まれる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・人手不足はまだまだ続く。大手企業は多額の採用費用を投入できるが、中小企業ではそうもいかず、生産性はますます低下し、競争力も失われてしまう。
	職業安定所（職員）	・北朝鮮の動きや産油国の影響によってガソリン価格が高騰すると、景気はやや悪くなる。	
	x	-	-